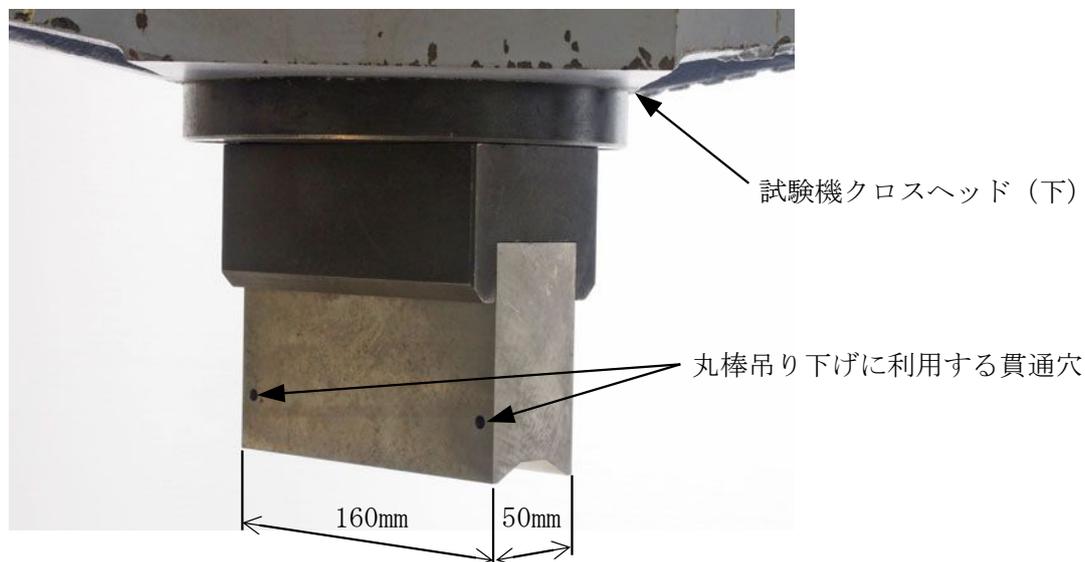


## 【先端交換式押しジグ】

先端のV溝部に丸棒をセットし、その丸棒を介して試験体に圧縮荷重/曲げ荷重を加えることができます。丸棒を交換することにより、試験体と接触する部分のRを変更することができます。



先端に曲率を持たせた押しジグの場合、荷重位置を特定しやすいという利点がありますが(例えば、曲げ試験において、支点位置から荷重位置までの距離を特定しやすい)、試験体との接触形態が点接触または線接触となるため、押しジグが損傷しやすいという欠点があります。

しかし、本試験ジグでは先端が交換可能ですので、最小限の損耗で試験を行うことができます。